

受領 令和7年11月27日 09時42分

通告番号 (18) 1/2

令和7年11月27日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議會議員
仲 真 朝 雄 印

一般質問通告書

第548回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 近年、本村の公式SNSによる情報発信が増えているが、その利用状況（使用媒体・発信頻度・主な目的）をどのように把握しているか。</p> <p>(1) 災害・断水・学校・福祉など、住民生活に関わる投稿において、誤解や問い合わせが集中した事例を把握しているか。あれば、課題と改善策を問う。</p> <p>(2) 住民が行政情報を誤解なく受け取れるよう、表現の統一や、見出しの工夫などはされているか。また、ガイドライン整備の考えはあるか。</p> <p>(3) SNSに不慣れな高齢者・外国人住民など、緊急情報の取得に差が出ないよう伝達方法の強化を検討しているか。</p>	
<p>2 文部科学省が公表した「経年変化分析調査（令和6年度）」では、全国的に小6・中3の国語および算数・数学で平均スコアの低下が確認され、特に小学校算数の低下幅が大きいとされている。本村児童の学力がどの水準にあるのか、近年どのような変化があるのか、客観的に確認する必要があります。</p> <p>当局の現状認識と、学力保障に向けた具体的対応を伺います。</p> <p>(1) 本村の学力状況について</p> <p>ア 全国学力・学習状況調査における、「過去3年間の本村平均正答率の推移（小6国語・算数/中3国語・数学）を問う。</p> <p>イ 沖縄県平均および全国平均との比較において、本村の位置付けをどう評価しているか。</p> <p>ウ 特に改善が見られた教科・領域、逆に課題が大きい領域があれば具体的に示されたい（例：読解・記述、割合・文章題、英語スピーキング等）。</p>	

通告番号 (18) 2/2

質問要旨	答弁を求める者
<p>(2) 学力低下の要因分析について</p> <p>ア 本村における学力課題の要因をどのように把握しているか。</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での学習時間の減少 ・スマホ・ゲーム利用時間の増加 ・読書習慣の低下 ・授業改善の課題 ・不登校增加の影響。 <p>イ 生活習慣と学力の関係について、村として独自分析を行なっているか。行なっていない場合、今後実施する考えはあるか。</p> <p>(3) 本村の対策と今後の方針について</p> <p>ア 学力向上に向けた現在の取り組み（支援員配置、学習支援、研修など）を具体的に示されたい。</p> <p>イ 「家庭学習の定着」へ向けた支援策～～保護者向け啓発、学習環境整備放課後の学習スペース確保など～～強化する考えはあるか。</p> <p>ウ 全国的に低下が顕著な小学校算数について、村独自の重点対策を講じる考えはあるか。</p>	
<p>3 知的障がい者の地域生活基盤の確保と親亡きの備えについて</p> <p>(1) 現状と課題の把握について</p> <p>ア 本村における知的障がい者数、グループホーム・短期入所の定員・稼働率・待機者の有無および村外利用状況を最新年度で示されたい。</p> <p>イ 当事者・家族の声と指摘される以下をどのように進めるのか伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア) 住まいの選択肢不足。 イ) 親亡き後の不安。 ウ) 移動・送迎の課題。 <p>(2) 最優先で取り組む具体方針について障がい者差別方改正（令和6年4月施行）を踏まえ、本村として以下をどのように進めるのか伺う。</p> <p>ア グループホーム整備の見通し。</p> <p>イ 体験入居・短期入所枠の確保。</p> <p>ウ 合理的配慮の実際。</p> <p>(3) 親世代の高齢化と当事者の長寿化を踏まえ親亡き後の生活設計支援（見守り、資金、後見）の中長期的見通しについて伺う。</p>	